

インファント だより



平成31年 2月

新しいおしごとの
「バナナ切り」。他に
も季節に合わせてお
しごともリニューアル
しています。



移行は、子どもたちが2階に行く
だけではありません。例え
ば、やま組担任の清華先生が1
階に来て子どもたちと関わる
ことも移行の一環です。



【お正月あそび】

- ★こま作り…丸く切った厚紙に色を塗り、芯を刺してこまを作りました。
- ★凧作り…四角い紙に自由に絵を描いて、脚とひもをつけました。



もちつき にじ組は杵を持って、「よいしょー！」の掛け声で餅つきをしました。杵の重さに驚きながらも力強くお餅をついてくれました。

そら組・つき組の子どもたちも、園庭で餅つきの様子を見学してお餅を食べた後、手作りのダンボールの杵と臼で餅つき大会！お餅つき気分を味わっていましたよ。



鬼の拵づくり (にじ組)

鬼の顔・トラのパンツをのり貼り・シール貼りをして作りました。



いす・ひよこ 連絡事項



- ★ 無記名、また記名が薄くなっていたり、お下がりなどで本人の名前のない衣服、口拭きタオルがいくつか見られます。もう一度記名のご確認お願い致します。(降園用の紙パンツにも必ずご記名ください。)
- ★ にじ組は、子どもの様子を見ながら幼児クラスへの移行を進めています。
移行について、保護者の方に誤解なくご理解いただきたいことは、**【「移行=優秀」「移行しない=問題がある」ではない】**ということです。にじ組から幼児クラスへの移行を検討する場合、一番大事にしている要素は「子どもの性格・特性」言い換えれば「個性」です。排泄・着脱がある程度自立していることは前提にはなりますが、形式的にも実質的にも保育士は子どもに優劣をつけての検討はしていません。その子にとって、2階に行って刺激を受けた方がいいのか、1階の慣れた場所で賢沢に環境を使った方がいいのか、一人一人の一つ一つの要素を保育士たちが会議で検討しています。